

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちょう

Bird of Paradise

2016
No.
53
30 Oct

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会 編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 発行日 平成 28 年 10 月 31 日



パプアニューギニア独立41周年をお祝いして

イレーネ賀集（当会理事）

Irene Gashu (a director of Japan-PNG Association)

パプアニューギニア独立41周年をお祝いのレセプションが2016年9月16日に東京品川のマリオットホテルで執り行われました。パーティーは午後7時からの開始でしたが、品川駅からホテルまでの無料シャトルバスを乗るために早く参りました。品川駅に着くとシャトルバスを待っている人達の長い列ができていました。その日私は「メリ・ドレス (meri dress)」を着ていたのですが、私の前に並んでいた日本のご婦人がそのドレスについて尋ねて来られましたので、これはパプアニューギニアの



国民服で、私はポートモレスビーでオーダーメイドしたのです、とお答えしました。

レセプションは、ガブリエル・ドゥサバ大使のスピーチで始まり、外務省アジア太平洋局参事官の四方敬之氏が続き、日本・パプアニューギニア友好議員連盟の田中一徳氏が乾杯をされました。

その後食べ物とお話を楽しみ、あっという間に時間は過ぎてしまいました。パーティーが終わろうかという時に、何人かのパプアニューギニアの国の人達が集まって大使や大使夫人と一緒に写真を撮っているのを見ましたので、私も脇からワンショット撮りました。祖国から離れて国家記念日を祝う、なんと素敵なことなんでしょう、と思いました。

写真の中の祖父



学校法人仙台育英学園 理事長 加藤雄彦

日本・パプアニューギニア協会の皆様初めまして。仙台育英学園の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今からちょうど70年前の8月1日、私の祖父である日本帝国海軍大佐加藤栄吉第87警備隊司令はBC級ラバウル豪州軍事裁判による死刑判決でラバウル刑場の露と消えました。会津若松出身の祖父は仙台育英学園の創立者である兄利吉を頼って仙台に移り、海軍兵学校を第46期生として卒業後、軍歴を重ね、1943年9月からブカ島及びブーゲンビル北部の部隊司令として約8千人の海軍将校と下士官兵を指揮し、終戦の詔勅まで獅子奮迅の闘いを貫いたと伝えられています。

祖父の遺言のなかには、「コレカラ新日本建設ノタメ一大勇猛心ヲ以て努力セヨ」とあり、この言葉が戦後の学園発展、東日本大震災からの復興の鍵となったことは間違いありません。

南国特有の湿り気のある風、コバルトブルーの海で愛嬌を振りまくイルカの大群、そして活発な火山活動が続けるラバウルのダブルブル火山の火口から噴出する煙は、写真の中でしか拝見したことがない祖父からの励ましの言葉のように私の心を揺らしてくれます。

それは「祖国の教育振興のために力を尽くし、自分の終焉の地となったこの国の人々のために為す事を成しなさい。」と諭していらっしゃるように感じるからです。

祖父の70回目の命日にパプアニューギニア独立国教育省で感謝状を頂き、翌2日ソゲリ国立高校で松本特命全権大使のお立会いの下、日本初の姉妹校締結を行いました。来年2月からの日本語教育支援や同校卒業生の受け入れ事業を進める計画です。今後とも協会の皆様のご理解とご支援を賜り、両国の教育交流を実りのあるものにしていく所存です。



教育省での感謝状贈呈式



ソゲリ国立高校との姉妹校締結式

松本 盛雄（在パプアニューギニア特命全権大使）

2018年にAPEC首脳・閣僚会議がPNGで開催される予定です。日本政府は、この歴史的イベント開催に向けたPNG政府の努力を支援しています。具体的には、会議で使用する車両の提供、PNG行政官の能力構築支援及び会議関連イベントで演奏を行う軍楽隊支援といった内容です。軍楽隊支援については、6月6日に大使館とPNG国防軍との間で草の根文化無償資金協力に関する署名式を行い、楽器調達に向けた作業が進行中です。これに先立ち、日本・パプアニューギニア協会等の関係各位

の尽力により、学校法人仙台育英学園から軍楽隊に中古楽器が贈与され、軍楽隊は政府による楽器供与を待たずに練習を始めることが可能になりました。

8月2日にこれらの中古楽器の贈与式が国防省で挙行され、同学園加藤理事長が出席しました。また、加藤理事長は仙台育英学園高校とソグマリ国立高校との姉妹校締結式にも出席し、今後の両校の学生・職員の交流促進に合意しました。このように日本政府は民間団体と一体となり、オールジャパンの体制でPNG支援を進めています。



▲ 贈与式の状況（贈与された楽器での演奏）

◀ 贈与式の状況（左から仙台育英学園理事長，本使，国防軍参謀長）

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

2016年10月13日から15日まで、ドゥサバ大使ご夫妻は、鳥取市を訪問致しました。

平井伸治鳥取県知事、深澤義彦鳥取市長への表敬訪問、八頭町の北村きこの園の工場見学、視察を終え、鳥取県境港出身の故水木しげる氏へのパプアニューギニアへの15回の訪問、情熱などの話に花が咲き、今後も鳥取とパプアニューギニアとの深い絆をつないでいくことを再確認致しました。

また、大使ご夫妻は山を切り開いて開発した、大江

の郷リゾート、国府町の雨滝、殿ダム、雄大な鳥取砂丘、砂丘美術館の南アメリカ編、山陰海岸ジオパークの浦富海岸遊覧船、など鳥取の初秋を満喫されました。この件は、すでにポートモレスビー、在京の各国大使、世界に駐在するパプアニューギニア大使へ発信され、市の人口12万人で大使の故郷Wewakと同じ人口規模である、大自然に囲まれた鳥取を大きくアピールされました。今後の鳥取市とパプアニューギニアの新しい友好関係に期待致します。



北村大司 北村きこの園社長



平井伸治鳥取県知事



深澤義彦鳥取市長

学校図書株式会社は、1948年に創業し、「教育界に奉仕する」を社是に掲げ、小学校と中学校の教科書の編集・発行を主な業務としている出版社です。

当社は、JICAの事業の「パプアニューギニア国 理数科教育の質の改善プロジェクト」に、アイ・シー・ネット株式会社に協力するかたちで、2016年3月から活動しています。

現在、日本の教育制度は、海外から高く評価されており、新興国を中心に日本の教育制度をとり入れたいという国も少なくないといえます。PNG政府は、2001年にオーストラリア支援で導入された成果主義教育(OBE)を廃止し、基準達成カリキュラム(SBC)を導入しようとしています。このような中、PNG教育省はこれまでのJICAの理数科教育に対する支援を高く評価し、SBCに基づいた理数科の教科書開発の支援を日本政府に要請しました。このような経緯で、「パプアニューギニア国理数科教育の質の改善プロジェクト」がスタートすることになりました。

このプロジェクトの目標の1つに、児童・教師にとって教科内容を理解しやすい教科書と教師用指導書を完成させることがあります。当社の役割は、教科書・教師用指導書の編集作業です。2019年2月までに、小学校3年

～6年の算数と理科の教科書・教師用指導書を完成させる予定になっています。編集作業は日本国内での作業が多くなりますが、年に3回、ポートモレスビーにあるプロジェクトの事務所に、算数と理科の担当者がそれぞれ行くことになっています。

プロジェクトに参加して最初のPNG渡航の際、小学校を見学させてもらう機会がありました。算数の授業を見たのですが、児童が教科書を持っていなかったことに驚きました。

このプロジェクトで完成した教科書を手にもって学ぶPNGの児童を想像すると、とてもやりがいを感じます。プロジェクトの一員として、PNGの児童や教師に喜んでもらえる教科書・教師用指導書の編集に努力したいと思います。



事務局からのお知らせ

本号では、仙台育英学園様のソゲリ高校との姉妹校締結や、軍楽隊への協力事業などがご紹介できました。

協会としてもこれら事業にご協力することができ、松本大使のご案内の通り、官民一体となってPNGへの支援活動が行われていることに、少しずつですが充実感を覚えることができいております。

11月5日からのPNGへの親善ツアーも全コースの催行が決定して、現在関係方面との調整をいたしております。ツアーについても、次号でご案内できると思います。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：34社 ◆ 個人会員：174名 (2016年10月31日現在)

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方ぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-2-1 エース九段ビル8階 日本ビジネスライン(株)内
Tel:03-5216-3555 Fax:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/